

## 大学生活を振り返って

### 佐藤 歩未

私は、大学生活を振り返って東洋大学に入学して良かったと心から思えます。この学校において、勉強・サークル・アルバイト・遊びなど、全てが私にとって充実したものでした。

私がこの大学生活を送って感じた大切なことは、「諦めずに続けること」です。これは、よく言われることではありますが、本当に実感しています。

私は大学生活において、苦痛に感じることや途中でやめたくなる事が沢山ありました。例えば、ゼミにおいては、統計分析の作業に苦戦し、何度も藤井先生に指導されて嫌になったり。サークルにおいては、ダンスが猛烈に上手な人達に囲まれて劣等感を感じたり。アルバイトでは何度もミスをして、先輩や社員の方に叱られたり。就職活動においては、いいなと思う会社にとことん落とされ放棄したくなりました。しかし、辛かったり嫌になったりしても続けたことによって私が得たものは、辛さの倍以上ありました。ゼミでは、藤井先生の親身な指導によって、パソコンの能力が抜群に上がりました。サークルにおいては、周りの仲間を支えてもらいながら必死に練習し、最高の舞台を作りあげることができました。アルバイトでは、先輩たちが細かく教えてくださったことが脳内にインプットされ、迅速な行動ができるようになりました。就職は、様々な企業を見られたお陰で、本当に自分が働きたいと思える会社に内定をいただきました。そして、これら全ての経験を通して、本当に大切な信頼できる仲間ができました。

嫌になるぐらい叱られたり、物事がうまく進まなかったり、先が見えなくて辞めたくなることもあると思います。でも、絶対全ての過程が自分の糧になるので頑張っていてください。数年後には笑い話になりますから。

みなさんも、大学生活で様々な経験をして、充実した日々を送ってください。

### 野海 拙

大学生活を振り返ると、一番に頭に浮かぶのはサークルのことです。3年生まではダンスばかりしてました。大学の授業で学んだことよりも、サークルの中で学べた事のほうが圧倒的に大きい。沢山の時間があって、自由がある大学生活のなかで、打ち込めるものを見つけることはとても大切だと思う。それは、バイトでも恋愛でも趣味でもサークルでも。大人と子供の間のような立場で、私は好きなことをできたなあって思います。そうやって、打ち込んできたことが、就活のときに絶対役にたつと思う。

ゼミのことを振り返ると、結果的に藤井ゼミに入って本当によかったと思う。大変でいやだーって思ったこともあったけど、やっぱり先生はちゃんと最後まで面倒を見てくれました。ありがとうございました。私たちの代は年々人数が減っちゃって最後とか一桁

しかいかなかったけど、やっぱりゼミで出会えた友達もかなり大切な友達になっていました。いつの間にか。

4年間は、本当に一瞬で終わってしまいます。後輩の皆さんはやりたいことを思いっきりやって、悔いの無い大学生活を送ってください。

## 価値のある大学生活

### 木村 賢太郎

大学生活を振り返ってみると、この4年間は自分にとって本当に有意義なものになりました。サークル活動、遊び、就職活動、勉強と大学では様々なことに力を注ぎました。全てを振り返ってみると、ダンスと遊びに力を入れすぎていましたが...

私は2年生からの3年間藤井ゼミ生として大学生活を送り、本当に良かったと思います。藤井ゼミでは経済のことや、地域振興などたくさんのことを勉強しました。そのどの分野でも藤井先生は詳しく、わかりやすく教えてくれたおかげで、就職活動でも大変役に立ち、私は希望していた会社に就職できました。また先生を含めたゼミのみんながとても仲が良く、ゼミ合宿や飲み会などとても楽しく、とてもいい思い出です。

また、私は4年の後期でゼミをやめてしまったのですが、藤井先生のおかげでゼミに戻ることができ、論文を書くことで自分にとってとても良い経験となりました。最後まで頑張ることができ、藤井先生にはとても感謝しています。

大学生活は本当に自由な時間がたくさんあります！学生のうちにしかできないことがたくさんあると思うので、思いっきり楽しんでください！！

## 大学生活を終えて

### 松本 充代

大学4年間、長いようであつという間だった気がします。藤井ゼミで過ごした3年間は、私の大学生活の中で貴重なものとなりました。合同ゼミや共同論文などでは、国会図書館に行き調べたり、真夏にみんなで現地を歩き回って探索したり、自ら動き情報収集をしました。正直挫けそうになったことも何度もありましたが、この経験が自分の力となっているのだと思うと、諦めずにやってきてよかったと思います。私は卒業論文ではなくゼミ論文になってしまいましたが、書き上げることができたのも藤井ゼミの3年間があったからだ実感しています。他のゼミでは体験することのできない事をたくさん経験し学ぶことができました。藤井先生には厳しいご指摘を頂きましたが、先生とお話ししていると自然と頑張ろうと思えました。学生一人一人をしっかりと見てくれる“学生想い”の藤井先生の下でみんなと学ぶことができたことを嬉しく思います。

また、大学に入学してから今まで本当にたくさんの人たちに支えられてきました。私にとって友人は大きな存在です。みんな進む道は違うけれど、それぞれの道で頑張っていてお互いを高め合っていきたいです。そして、今まで学んだ事を活かして、さらに大きく

成長していきたいと思います。藤井ゼミで3年間過ごすことができ楽しかったです。ありがとうございました。

## 継続は力なり

原 宏史

いつの時代を振り返っても何かに熱中出来ている自分はとても幸せだったと思う。大学4年間でもそう。アルバイト、サークル、海外短期留学、ゼミ、就職活動それぞれでたくさん学んだ事があると言える。また、大学で何をしていたか。と聞かれれば真っ先に答える事ができる。4年間1度もやめずに続けてきた事が何より力になっているのだと感じた。自分の人生の中で初めて挑戦するアルバイトには、学校では身につかないような事や、刺激、自分の理想の社会人像とのギャップなど様々だ。

継続してきたことで、自分のやりたい事や目標をたくさん見つける事が出来た事が何よりも嬉しく、モチベーションにつながっている。そしてまだまだ自分に足りない事が山ほどあるとわかって安心した気持ちもある。

大学4年間は、全く違う環境で育ってきた人達と仲良くしていくサークルや、ホームステイをして1ヶ月海外生活をして他の文化に触れてきた留学、クラスのように定期的集まり、課題に向かうゼミ活動。そして自分の将来を左右し、自分を売り込んでいく就職活動。就職活動を終えて、その経験をもとに後輩に伝えていくという大事な役割をキャリアセンターに与えてもらい、自分の中でもきちっと整理する時間をもらったと感じている。充実した生活を送れたのではないかと自信を持って言えるのは、自らやりたいことに挑戦していく姿勢を持ち、行動してきたからではないだろうか。

この経験を糧にして社会人になり、どんどん挑戦して、大きく人生を歩み、成長したい。全てのカテゴリーで出会った人や、環境に感謝し、会社では大学の看板を背負っているつもりで、納得いくまで働いて、胸をはれるよう努力する。小さい事も継続し、大きな力となって大成したいと思う。

この卒業作文に残して、有言実行する責任を自らに課すとしよう。

## 大学生活を振り返って

西瀧 宇宙

2年の時から藤井ゼミに入り、今振り返ってみるとこの3年間はすごく短いものでした。しかし今だから短く感じたものの、当時は長く、そして険しいものと感じていました。Excelの使い方も全く知らないのに、最初から授業ではグラフなどを作り、先生は見本を見せてくれるものの、マイペースでついていくのに苦労しました。しかし、そのペースに負けじとついてきた3年間で、人並みにExcelも使えるようになり、卒業論文でも統計データを見て、ひとりでグラフを作れる力が身に付きました。

また、私の不甲斐なさのあまり、何度も先生にはもう授業には来なくていいと言われ続

けてきました。しかしこのプレッシャーにも負けず、今ここにいたります。藤井ゼミでは忍耐力も身に付くことは間違いないでしょう。

藤井ゼミの最も良いところは、気が合う良い仲間が増えることだと思います。藤井ゼミには毎年なぜか良い人ばかり集まる気がします。これも先生の人柄でしょうか・・・！！ゼミ合宿はたぶんどこのゼミよりも一番おもしろいじゃないかと思っています。先生は酔うとドSになるのはここだけのお話。私はとてもいじられました。

藤井先生 3年間大変お世話になりました！そしてゼミのみんな 3年間よく頑張った！！そしてありがとう。また飲みに行きましょう。

後輩のみんなはもっとお酒好きの藤井先生と飲み明かしてください。よろしくお願ひします。

## 大学生活を振り返って

青木 春菜

今大学生活を振り返ると、とても充実していて短かったように感じます。

藤井先生の「遊ぶ時は遊ぶ、やる時はやる」という考えに惹かれて、藤井ゼミを選択しました。その言葉通り、課題や授業でのご指導は結構厳しかったです。2年次の合同ゼミや3年次に参加した世田谷区の活性化を目的とした他大学とのプレゼン大会では、長い時間かけて、実地調査やレポートの作成を行いました。ゼミのない日や長期休みにもメンバーで集まり、予想以上のハードさに驚きましたし、くじけそうになった時もありました。でもその半面、夏合宿や飲み会では、みんなで思いきり遊んで、飲んで、楽しみました。だから多くの課題やプレゼン大会も乗り越えられたし、今では良い思い出です！！

就職活動については、様々な立場の人からお話を聞いたり自分と向き合ったり、就活じやなきゃ経験できないようなことがたくさんあると思います。なので、就活を楽しむ気持ちも大切にしてほしいです。不安だったり悩むこともあると思いますが、たくさん考えて行動し続けていけば何かしらヒントが見つかる気がします。そして藤井先生はとても親切で面倒見がよく頼りがいのある方なので、先生に相談にのっていただくこともオススメします！

卒論については、無事提出し、達成感を味わうことができました！期限の10分前くらいまでみんなと必死になって作成し、提出しました。記念や達成感にも繋がると思うので頑張って提出してほしいです！

最後に、藤井先生、ゼミのみんな、3年間ありがとうございました！卒業しても飲みに行ってください！ ☆そして後輩のみなさん、大学生活楽しんでください！☆

## 四年間の大学生活の中で得たこと

青木 元紀

4年前、私はまだ高校を卒業したばかりであり、浪人の最中でした。高校在学中に他大学

の推薦をもらっていましたが、もう少し勉強をして大学に入りたいと思い他大学の推薦を断って浪人をして1年後東洋大学に入学しました。それが4年前の4月です。私が大学に入りたかった理由は自分の視野を大きく広げたかったこともあり大学に入学しました。最初は1年間というギャップもあり、不安な事もありましたが、同じような境遇の方も同じ学科や他学部にもいたことでそのような不安は打ち消されました。

大学生活では学業の他にバトミントンサークル、テニスサークル、オールラウンドサークルの3つ所属し部活動にも自動車部に所属していました。サークル活動また部活動では多くの人たちと交流する事で幅広い交流関係を構築することが出来、またサークル内でのイベント活動などで様々な場所を訪れたりすることが出来、多くの経験を得ることが出来ました。ゼミナールでは2年次は中川ゼミ、3、4年次は藤井ゼミに所属しました。

ゼミでの卒業論文は防衛省と防衛産業というテーマで取り組みました。ゼミナールも3年次と比べて4年次はメンバーも少なくなってしまいましたが全員、卒業論文またゼミ論を提出できたので良かったと思っています。

4年間の期間の中で逆に苦労した事を述べると学科が2か国語を履修する事が卒業要件だったこともあり、ドイツ語の単位を3年間落としてしまって4年次までドイツ語を履修してしまっただけです。今考えてみると経済の勉強よりもドイツ語の勉強を指定と時間の方が長かった気がします。単位は幸い4年次に上がるまでにほとんど取り終えていたので3年の後半から就職活動に専念することが出来ました。就職活動は不景気という事もあり、4年次はほとんど毎日企業の説明会や選考に追われる毎日でした。最終的に説明会だけでも150社ぐらい訪問し100社にエントリーシートまた選考を受けたのは記憶に残っています。就職活動を始めて様々な業種をみることで自分自身知っている会社や初めて聞く名前でのような仕事をやっているのかわからない会社でも説明会などに行くことで興味を持つことが出来ました。結果内定を2つもらうことが出来たので無駄ではなかったと思っています。

4年を振り返ってみると四年間は長いようで短かった気がします。四年間の中でこれほどの経験が出来たのであるから社会のフィールドでは数えきれないほどの経験や苦労があるので社会に出ても学生生活の経験を活かして頑張っていきたいと思っています。

先輩の方たちにアドバイスする事があるとしたら、とりあえずサークルか部活またゼミは所属していた方がいいこと、これは学生生活の中で仲間を作るという点です。また単位は速めに多く取得しといたほうがいいこと、単位を多く取得しとくと就職活動時に授業と被ることなく就職活動に専念できる点で単位は速めに取得するのが一番だと思います。あと学業や就職活動などで躓いたとしても最後まで諦めずにやり遂げることです。諦めずに頑張る事で自分が頑張っただけ結果はかえってきますので頑張ってください。